

平成27年度一般財団法人富山市大沢野健康文化推進財団事業計画

当財団は、富山市より平成27年度から平成29年度までの富山市大沢野健康福祉センター・老人福祉センターの指定管理者として内定を受けており、引き続き快適で安全・安心な施設として管理運営を行います。

また、大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等の管理運営をより充実させ、健康づくりやスポーツ活動の拠点施設としてより質の高いサービスの提供と業務の効率化に努めてまいります。

さらに、ウインディについては、当財団の特長ある人材や技術力、ノウハウを活かした柔軟なサービスを展開し、さらに、ホームページなどを通して、魅力ある情報を計画的に充実した内容で発信し、利用者の増加に努めるとともに、これまで以上にコスト削減、事業の効率化を進め、魅力ある温泉利用型の健康増進施設として健全な経営を目指します。

1. 健康づくり事業等

近年、社会情勢の変化や急速な高齢化を背景に、生活習慣病の改善や介護・支援を必要とする人が増え、また、市民の健康づくりへの関心も年々高まってきているなかで、健康づくりに関する知識や活動の場を提供するために事業を実施します。

① 健康増進事業

トレーニングスタジオ・屋内プールを利用して、健康づくり・介護予防などについて、スキルの向上を図った有資格者による適切な運動指導・支援の実施及びレッスンの実施

② 健康情報の収集発信と提供

- ・健康情報紙及び運動情報紙の発行
- ・ホームページによる情報の提供

③ 健康イベントの開催

- ・ふれあいウォーキング
- ・イベントレッスンの開催

④ ニーズに即した事業の実施

- ・キッズ教室及び発表会の開催
- ・健康講座の開催
- ・託児付教室の開催

⑤ 受託事業の実施

・高齢者いきがい講座等

2. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター指定管理事業

富山市から公の施設の指定管理者に指定された管理運営業務について、仕様書に基づき実施します。

- ① 「ウィンディ」の利用者増を目標に、平成26年度から新たに設定した会員制度をPRする等積極的な営業活動に努める。
- ② 適正な施設管理を通じて環境負荷の低減に努める。
- ③ 「お客様満足度調査」の実施により、お客様のニーズの把握に努め、施設機能などの改善を実施
- ④ ロビーを利用した個展、ミニコンサートや富山ガラス工房等と連携した出前講座などのイベントの実施
- ⑤ 施設各室の利活用
- ⑥ 職員のモチベーション、スキルの向上を図る。
- ⑦ 職員の接遇等の研修の実施

3. 富山市大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等の管理運営

富山市から公の施設指定管理者として、指定されたスポーツ施設、公園施設の管理運営業務について、仕様書に基づき実施します。

① スポーツ施設の管理運営

機能を良好な状態に保持し、事故防止に努めながら、コストの縮減、利用者満足度の向上、利用者の安全・安心を基本として事業を実施します。

(対象施設)

・富山市大沢野青少年体育センター他5施設

② 都市公園等の管理運営

憩いの場として、良好な景観を保ち、利用者の安全で快適な公園づくりに努めます。

(対象施設・事業)

・猿倉山森林公園他7公園

・障がい者の積極的雇用

・公園案内板の設置

・行為許可事業

各施設で適正かつ公平に各種イベントなどの行為の許可業務を実施します。

平成27年度 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

一般財団法人 富山市大沢野健康文化推進財団

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	7	10	△ 3
基本財産受取利息	7	10	△ 3
② 事業収益	109,731	114,006	△ 4,275
入会金収益	300	250	50
会費収益	58,000	58,500	△ 500
利用料収益	43,000	45,000	△ 2,000
分担金収益	2,979	3,075	△ 96
手数料収益	5,219	5,581	△ 362
物品等売上収益	233	1,600	△ 1,367
③ 受取受託金	127,084	148,866	△ 21,782
受取受託金	127,084	148,866	△ 21,782
④ 受取補助金等	54,032	31,723	22,309
受取補助金	54,032	31,723	22,309
受取助成金	0	0	0
⑤ 雑収益	197	176	21
受取利息	12	11	1
雑収益	185	165	20
経常収益計	291,051	294,781	△ 3,730
(2) 経常費用			
① 事業費	272,614	276,425	△ 3,811
給与手当	25,590	28,650	△ 3,060
貸付金	47,453	49,838	△ 2,385
退職給付費用	1,539	1,405	134
法定福利費	9,450	10,421	△ 971
厚生費	1,592	1,449	143
通勤費	1,594	1,915	△ 321
交際費	180	182	△ 2
旅費	8	0	8
通信運搬費	1,416	1,585	△ 169
消耗品費	9,335	8,674	661
修繕費	5,996	5,583	413
印刷製本費	309	0	309
燃料費	36,458	36,106	352
光熱水費	68,237	65,029	3,208
医薬材料費	5,776	3,693	2,083
使用料賃借料	7,855	9,989	△ 2,134
賄材費	129	145	△ 16
保険料	942	988	△ 46
食糧費	68	29	39
謝礼金償費	30	0	30
広告宣伝費	2,335	1,611	724
公租公課	3,608	6,263	△ 2,655
公負担金	350	343	7
減価償却費	663	880	△ 217
委託手数料	40,356	39,341	1,015
手聞書料	647	660	△ 13
新開図書費	327	277	50
物品等仕入費	217	1,131	△ 914
研修費	154	238	△ 84

科目	予算額	前年度予算額	増減
② 管理費	18,437	18,356	81
報酬手当	7,341	6,795	546
給与	2,893	2,909	△ 16
賃金	2,028	2,165	△ 137
退職給付費用	73	136	△ 63
法定福利費	2,014	1,891	123
厚生費	200	120	80
通勤費	215	268	△ 53
旅費	21	16	5
通信運搬費	102	65	37
消耗品費	94	345	△ 251
修繕費	126	50	76
燃料費	784	761	23
光熱水費	1,183	1,122	61
使用料賃借料	18	18	0
保険料	79	84	△ 5
食糧費	4	10	△ 6
謝金報償費	14	14	0
公租公課費	290	547	△ 257
負担金	8	137	△ 129
委託料	151	151	0
手数料	724	729	△ 5
新聞図書費	30	0	30
研修費	45	23	22
経常費用計	291,051	294,781	△ 3,730
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	4,806	4,710	96
一般正味財産期末残高	4,806	4,710	96
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	7	10	△ 3
基本財産受取利息	7	10	△ 3
一般正味財産への振替額	△ 7	△ 10	3
一般正味財産へ振替	△ 7	△ 10	3
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0
III 正味財産期末残高	34,806	34,710	96